

大会名 CJ-1 白馬
BH RACING MTB TEAM 恩田祐一
日時 8月2日(日)
天候 晴れ
周回数 5.2km x 6周回
結果 4位

全日本選手権から1週空いて、CJ-1レースが長野県白馬村で行われた。
自分向きのコースなので優勝を目指しレースに臨んだ。

レース2日前に会場入り。この日は暑さの為にコースを3周走ってトレーニングを終わらせた。

レース前日は午後に会場入り。この日も暑さは猛烈。会場入り後すぐにフォークサポートでお世話になっているSR SUNTOURサービスマンと打ち合わせを行い、試走を始めた。

林の中でやや濡れている部分はあるが、それほど問題がある感じではないので、タイヤの選択を迷う事なく決める事が出来た。短いスピード練習も入れ、心肺をあおって試走を終えた。

レース当日も猛烈な暑さだったので、いつもより遅めの1時間40分前に会場入り。到着後すぐにSR SUNTOURサービスマン、ケミカル類でサポートしていただいているHOLMENKOLサービスマンと打ち合わせを行い、不安のない状態を作る事が出来た。ドリンクや補給等の準備を終え、いつもより短めのウォーミングアップを行ったが、コンディションの良さを感じる事が出来た。

14時。真夏の猛烈な暑さの中レースがスタートした。

ややスタートで出遅れた感じがあり、8番手で最初のシングルトラックに入って行ったが、調子が悪いわけではなかったため、焦らず落ち着いてペースを作っていた。1周目の中盤から早くもペースの落ちる選手がいたので、一人一人パスをし、1周目を終える時点で5位、2周目に入って最初の上りでさらに一人をパスし、4位に順位を上げた。

20 秒くらい前には 2 位集団が見えるが、ここからその差がなかなか縮まらない。上りや平地では詰まるが、下りと細かいカーブの連続でテクニックの差が出てまた開き、これを繰り返しているうちに徐々に離され、その差が 1 分にまで開いてしまった。

なんとか表彰台にと追っていたが、5 周目の前半、ラダーセクション後のカーブでバイクを滑らせ転倒。さらにチェーンも外れ、立て直すのに時間がかかってしまった。ラストの 6 周回目に入った時に、後ろとの差が 25 秒と言われ、初めてその存在に気付いた。前との差は挽回不可能くらいになっていたもので、4 位だけは死守したいと必死にペースを上げた。焦りもあり、所々ミスもあったが、得意な上りと平地で踏んで、なんとか 4 位でレースを終えた。

全日本選手権のレース中にバランスを崩して脚を着いた際に、軽い肉離れを起こし、その後 1 週間トレーニングが出来ず、不安を抱えた状態でのレースだった。さらにはチームの監督が急遽会場に来れない事態になり、サポート等での不安もあった。

様々な不安を抱えたレースではあったが、今のベストは尽くした結果だと思う。自分向きのコースだったので、もっと上に行きたかったが、要所要所のテクニック不足が差となるコースでもあったので、この差は素直に受け入れて次への課題としたい。

監督不在だった今回、フィードには **SR SUNTOUR** のサービスマンに入っていた。こちらの都合で勝手なお願いをしたにも関わらず、二つ返事で引き受けていただけただけの事には、感謝の言葉しか見つからない。フィードの準備から場所等も含め、全てにおいて完璧な対応をしていただいたおかげで、猛烈な暑さの中でも全力を出す事が出来たと思っている。

ケミカルサポートの **HOLMENKOL** の存在も大きく、明らかに他の選手よりも泥の付着が少なかった。小さな事かもしれないが、選手にとってはもの凄く大きな事なので、毎試合助けられている。

今回場所によっては気温が 40℃に達するくらい真夏の猛烈な暑さの中、会場に足を運んでいただき、大きな声援で背中を押していただいた方々にも感謝したい。白馬という事もあり、いつも以上に声援を受けて走る事が出来たので、心強かった。

次戦までは少し期間が空くので、また体を作り直して後半戦も全力で挑めるように頑張りたい。

バイク : BH / Ultimate 27.5

フォーク : SR SUNTOUR / AXON WERX

タイヤ : MAXXIS / IKON

ケミカル : **HOLMENKOL**

ヘルメット : Kabuto / ゼナード

グローブ : Kabuto / PRG-3

サングラス : CARRERA / C-TF02 レンズ (NXT)

時計 : SUUNTO / AMBIT3 SPORT (心拍 MAX191 AVG177)

ネックレス : SEV

ドリンク : グリコ / パワープロダクション

サプリメント : グリコ / パワープロダクション

インソール : ホシノ B+Insole

パーソナルスポンサー : アークコミュニケーションズ

チームスポンサー : 中日本エンジ名古屋

